

衛星放送 ビジネス 1兆円 産業論

『ケーブルテレビ1兆円産業論』(田口和博著)を小社から発行したのは2007年のことである。まだケーブルテレビの産業規模が5000~6000億円規模のときである。その後、ケーブルテレビ事業は順調に伸び、2011年には地デジ化という国家事業の一翼を担うまでに発展した。

そこで、縁起を担ぐわけではないが、今度は衛星放送ビジネスの番だ。現在、日本の衛星放送ビジネスの規模は5000~6000億円と推定される。

NHK BS、民放系BS、WOWOW、StarChannel、CS専門チャンネル、それにスカパーJSAT、B-SATのようなプラットフォーム会社などの売り上げを合計すればその位の金額に達する。

衛星放送ビジネスを牽引するのは、MCO (Multiple Channel Operator) だ。ジュピターテレコム、東北新社などのほか、日本にはNHK、民放キー局 (HD) もコンテンツ統合型、資本統合型の日本的なMCOを形成している。MCOの挑戦する姿を連載で追いたい。まずはジュピターテレコムと東北新社グループに登場していただいた。

衛星放送ビジネスの屋台骨は、優秀な有料放送コンテンツだ。今回はKNTV、CCTV大富の外国系チャンネルに焦点を当てた。またアダルト (Aコンテンツ) にも登場願った。老舗と伸び盛りのチャンネルが登場する。

連載：日本型MCOの挑戦①

- 76 (株)ジュピターテレコム
各ジャンルのNo.1チャンネルを揃える
中谷博之・(株)ジュピターテレコム 上席執行役員メディア事業部門長
- 78 (株)東北新社 (TFC)
専門雑誌的な展開に軸足を置いている
岡本光正・(株)東北新社 上席常務執行役員

特集：最強の有料放送

- 80 特別座談会
東四国連携ネットワーク (通称:5社会) が
新規成人コンテンツを2012年春に放送開始
(株)ケーブルメディア四国 <CMS> 山本記久男
香川テレビ放送網(株) <KBN> 宮本浩和
中讃ケーブルビジョン(株) <CVC> 岡崎康博+井原太郎
(株)ハートネットワーク <HNW> 皆尾 裕
三豊ケーブルテレビ放送(株) <MCB> 高谷昌宏
- 83 ソフト・オン・デマンド(株) (SOD)
ケーブルテレビ局向に2012年春から2つのチャンネルで配信
盛貴武志・ソフト・オン・デマンド(株) 商品本部商品一部メディア販売課課長代理
- 84 KNTV(株)
韓流チャンネルの本命
売上貢献度TOPクラスの有料チャンネル
長谷川一郎・KNTV(株) 営業部本部長
- 85 株式会社大富 CCTV大富
“いつでも中国を知っておく必要がある時代” が到来した
張 煥琦・(株)大富 副社長
- 89 (株)イーステーション MIDNIGHT BLUE
最古参・最強のペイチャンネル
松本 平・(株)イーステーション 代表取締役社長